

サニタリースD据置式取扱説明書

〈ソフト便座〉〈暖房便座〉

このたびはサニタリース SD 据置式をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。正しくお使いいただくため、ご使用前にかならずよくお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- 警告** 誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
- 注意** 誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

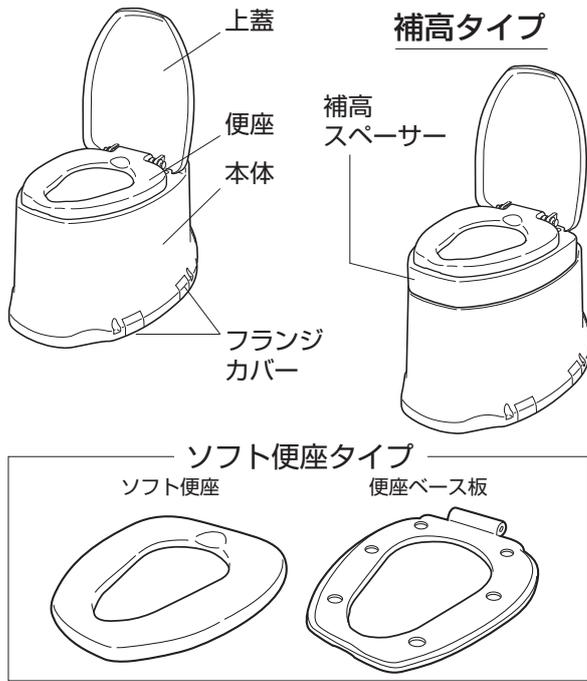
■お守りいただきたい内容の種類を、下の絵表示(図記号)で区分し、説明しています。(下記は絵表示の例です)

- 必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。
- してはいけない「禁止」内容を説明しています。

警告	
製品は絶対に分解、改造しないこと 強度が落ち、破損やけがの原因になります。	特に下肢の弱い方（膝関節症やリウマチ等）や片マヒの方が使用するときには、本体が動かず安心して使えるよう、床面に固定すること 転倒やけがの原因になります。
使用前には各部を点検し、確実に設置できているか、ぐらつきがないか確認したうえで使用すること	
使用者の身体状況によっては、介助者が付き添ったり、お買い上げの販売店かケアマネジャーなど専門家に相談すること	本体、便座がヒビ割れした場合は使用しないこと 破損し、けがの原因となります。

注意	
便座の縁に腰をかけると便座が浮くことがあるので注意すること	上蓋につかまって立ち座りしないこと 上蓋が破損したり、本体が動き、転倒やけがの原因になります。
体重が100kgを超える方は使用しないこと 製品が破損し、けがの原因になります。	
落としたり、強い衝撃を与えないこと 破損し、けがの原因になります。	直射日光に当てたり、ストーブなど火気を近づけないこと プラスチックが劣化したり、火災や変形の原因になります。
上蓋の上には座らないこと 破損し、転倒やけがの原因になります。	
便座を上げて補高スペーサーの上に直接座って使用しないこと 転倒し、けがの原因になります。	踏み台として使用したり、子供・幼児を遊ばせるなど、他の用途では使用しないこと
上蓋にもたれたりよりかからないこと 破損したり転倒し、けがの原因になります。	上蓋・便座を開閉時に手で無理やりおさえたり、押し上げたり、乱暴に扱わないこと ダンパーが破損したり、正しく作動しなくなります。
	お手入れの際は、タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと 塩素系洗剤、酸・アルカリ系洗剤、シンナー、クレゾール、殺虫剤等は絶対に使用しないこと 製品が劣化または破損し、けがの原因になります。

各部のなまえ



仕様

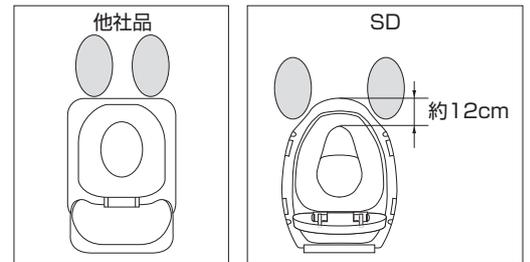
品名	サニタリーエースSD 据置式		
材質	本体・上蓋	ポリプロピレン	
	脚ゴム	エラストマー	
	ソフト便座タイプ	便座	EVA樹脂 (抗菌加工)
		便座ベース板	ポリプロピレン
	暖房便座タイプ	便座	ポリプロピレン (抗菌加工)
※補高タイプの場合	補高スペーサー	ポリエチレン	
寸法	幅44.5×奥行61.5×高さ40cm (便座までの高さ 39cm) ※補高タイプの高さは、それぞれ+5cm、+8cm		
重量	ソフト便座タイプ	約3.5kg	(補高#5) 約4.5kg
			(補高#8) 約4.7kg
	暖房便座タイプ	約4.4kg	(補高#5) 約5.2kg
			(補高#8) 約5.4kg

廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

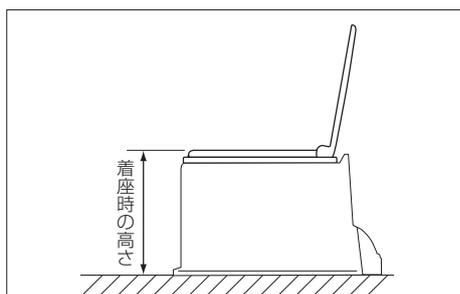
特長

- 上蓋・便座にはオイルダンパーを採用。静かに上蓋・便座が閉まるので、うっかり手を離してもボタンと音がしません。
- 便座をおおう、かぶせ蓋で、気になるニオイがもれにくくなっています。
- 便座後方部には尾てい骨が当たらないようくぼみを設け、前方部は大腿部の当たる面積を増やし、身体の圧力が均等にかかるので、長時間座っていても負担の少ない形状です。
- トイレの状況に合わせて、フランジカバーを上からスライドするだけで本体を90°方向変えて設置することができます。
- 立ち上がりやすい足引きスペースを設けています。

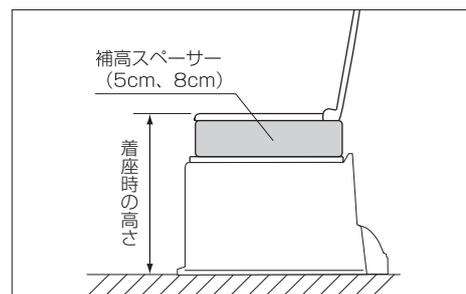


〈補高タイプの場合〉

- 膝関節症やリウマチの方などが使われる場合は、補高スペーサーを取り付けて便座高を高くすると、立ち座りが楽になります。



補高スペーサーを取りつくと



便座までの高さ
39cm



着座時の高さ
39cm

便座までの高さ
39cm



補高スペーサー
5cmタイプ
8cmタイプ



着座時の高さ
44cm
47cm

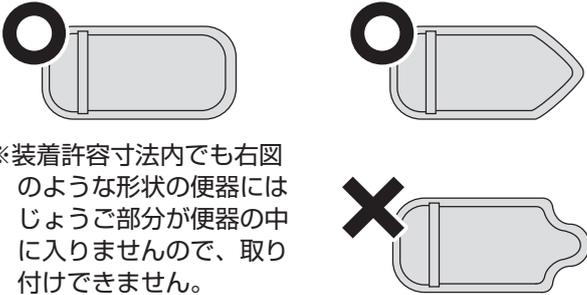
取り付けかた



使用する際、動作は身体の安定を確認しながら、ゆっくり行うこと

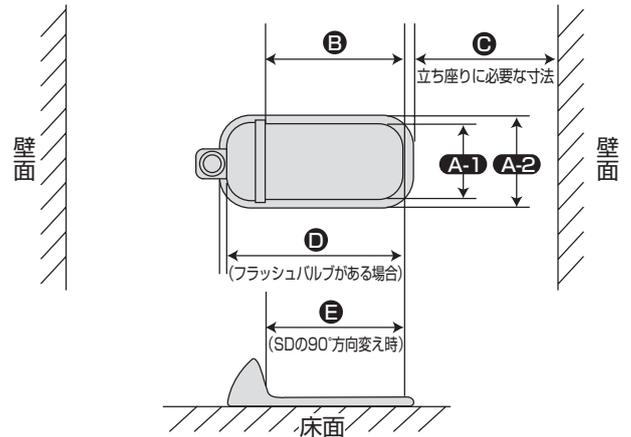
- 段差のない和式トイレでお使いください。
便器の形状と装着許容寸法を確認してください。

取り付け可能な便器の形状



※装着許容寸法内でも右図のような形状の便器にはじょうご部分が便器の中に入りませんので、取り付けできません。

装着許容寸法

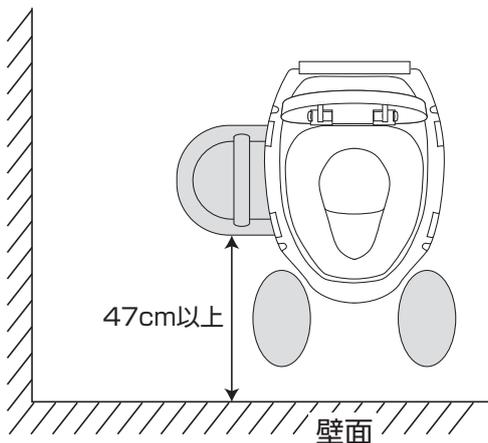


A-1	A-2	B	C	D	E
18.5cm以上	30cm以下	19cm以上	30cm以上	40cm以上	31cm以上

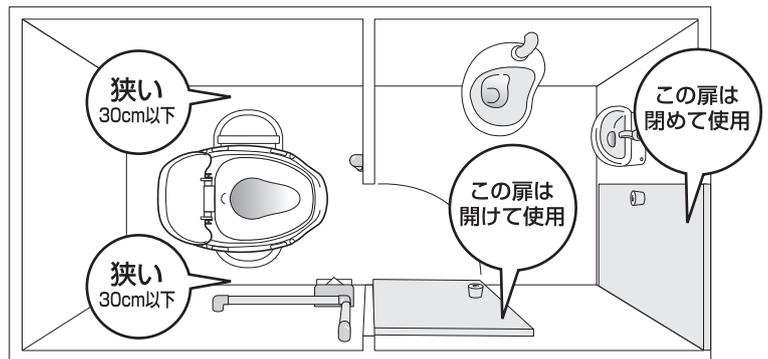
※90°方向変えの場合のA-2寸法は28.5cm以下
※キンカクシ高さ17cm以下。

ご注意

〈90°方向変えする場合〉



設置例



足の置くスペースを含めて、47cm以上必要となりますので、ドアを開けるなどして距離を確保してください。

取りつけかた

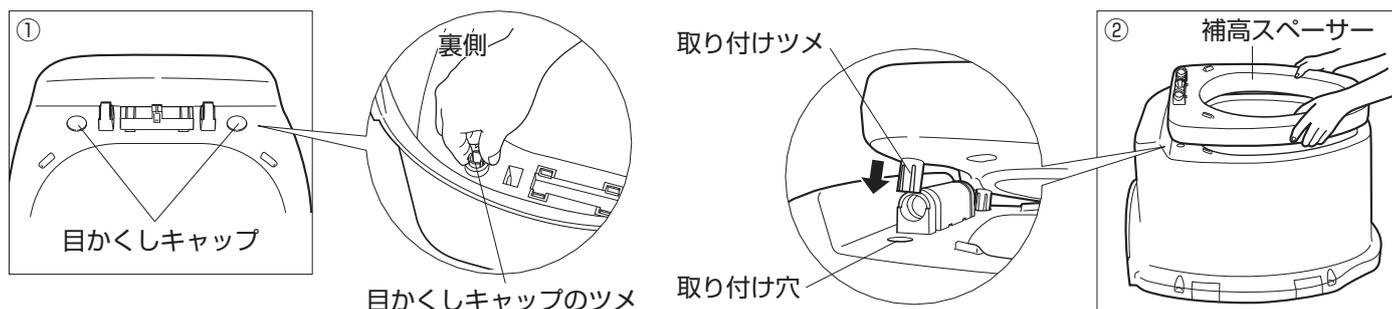
〈補高タイプの場合〉

次の手順で補高スペーサーを取り付けてください。

1 6ページを参照し、上蓋・便座・ダンパーを取り外してください。

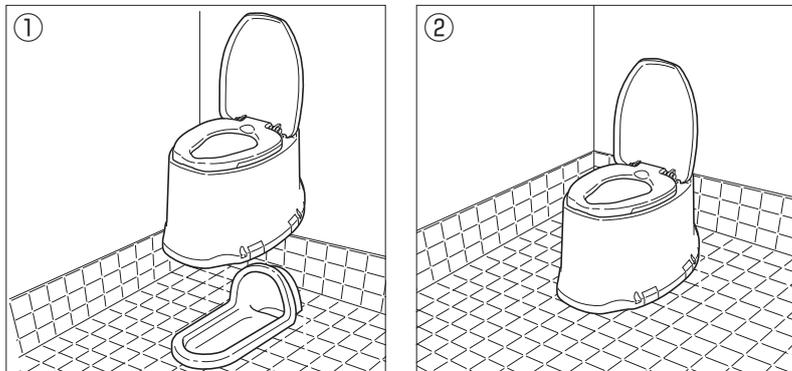
2 目かくしキャップを取り外し、補高スペーサーを取り付ける。

- ①裏側から目かくしキャップのツメをつまんで押し込み、目かくしキャップを外す。
- ②補高スペーサーの取り付けツメを取り付け穴に差し込んで、補高スペーサーを取り付ける。



3 6ページを参照し、上蓋・便座・ダンパーを取りつけてください。

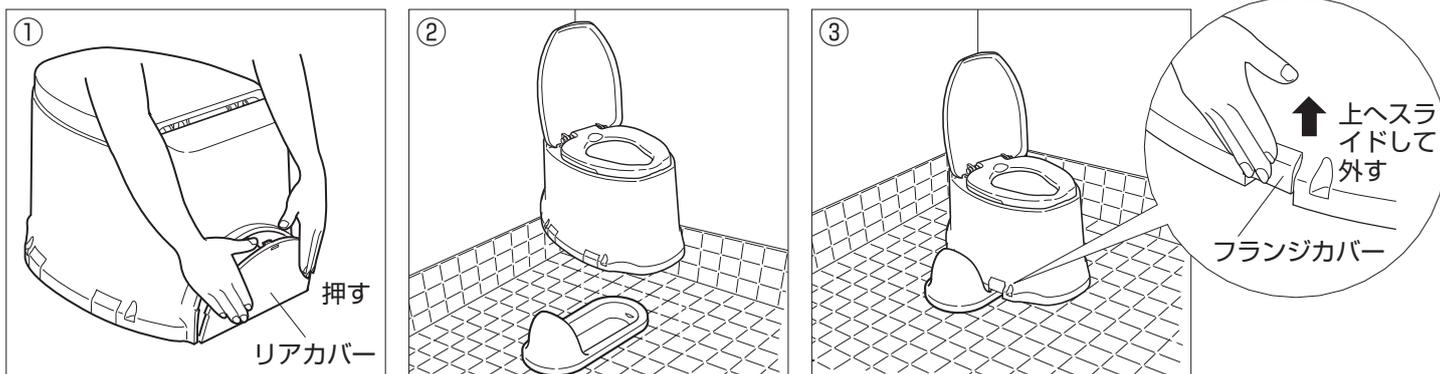
●和式便器にかぶせて置きます。



※脚ゴムが4か所ともついているか確認してください。
外れたまま設置すると、使用中に傾き、転倒やけがの原因になります。

〈90° 方向変えする場合〉

- ①リアカバーを取りつけてから、②和式便器に対して90°にかぶせて置きます。
- ③キンカクシ側のフランジカバーが1.5cm以上あがった場合は、取れやすくなりますので外してください。



取り付けかた

●本体が動かないように、床面にネジで固定できます。



特に下肢の弱い方（膝関節症やリウマチ等）や片マヒの方が使用するときには、本体が動かず安心して使えるよう、床面に固定すること

1 固定に使うネジ4本を準備します。

床が木の場合

→ M6（首下長さ50mmまで）の木ネジを準備してください。

床がコンクリートあるいは
タイル貼りの場合

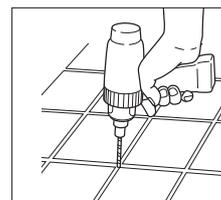
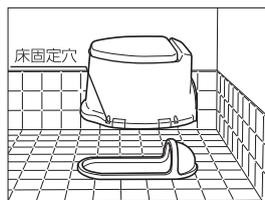
→ M6（首下長さ50mmまで）のコンクリート用ネジ（アンカーボルトやプラグなど）を準備してください。

2 本体を仮置きし、固定穴の位置を決めます。

①本体下部の開口部にある方を、和式便器のふくらみ（キンカクシ）にかぶせ、安定する位置に仮置きします。

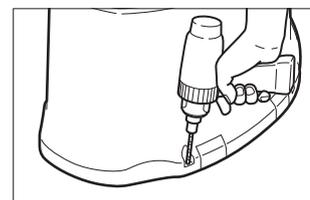
②床固定穴の中心部に合わせて床に印をつけます。（4か所）

※床がタイル貼りの場合、タイルが破損するおそれがあります。
必ずタイルとタイルの間の目地の部分に穴を開けるようにしてください。



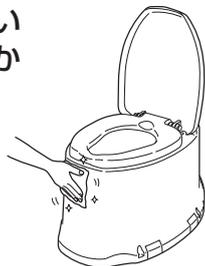
3 下穴を開け、ネジで固定します。

- ・下穴の深さは50mmまでにしてください。
- ・下穴の大きさ、およびネジの固定方法は、準備したネジに合わせて行ってください。
- ※下穴が防水層に到達した場合は、コーキング材で防水してからネジ締めしてください。
- ※強く締めすぎると、本体を破損することがあります。

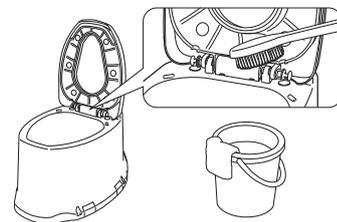


お手入れの方法

1 汚れはスポンジかやわらかい布に中性洗剤をふくませてからふきとってください。



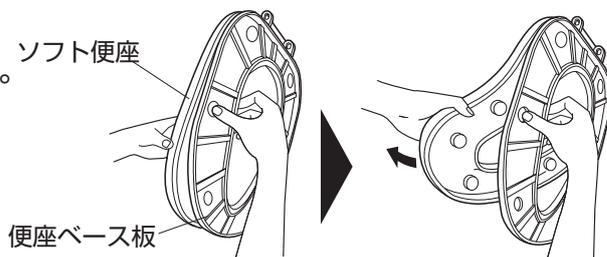
2 上蓋・便座の軸部分は毛足のやわらかいブラシで洗ってください。



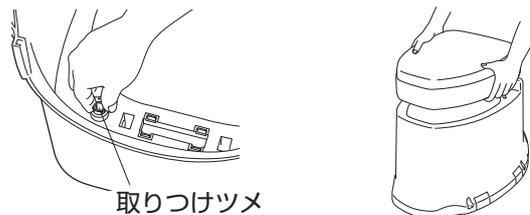
3 ※ソフト便座の場合
便座はソフト便座と便座ベース板に取り外せます。
裏面の凸部を押して取り外してください。



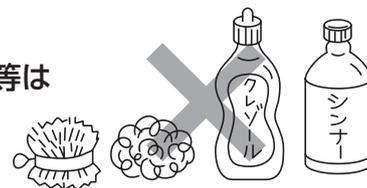
ソフト便座と便座ベース板に取り外す際、無理に引っばらないこと
強く引っばると、ソフト便座が破損します。



4 ※補高タイプの場合
補高スペーサーは取り外せます。
裏側から補高スペーサーの取り付けツメをつまんで押し込み、補高スペーサーを浮かせて外してください。



●タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
●塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール、殺虫剤等は絶対に使用しないこと
製品が劣化または破損し、けがの原因になります。



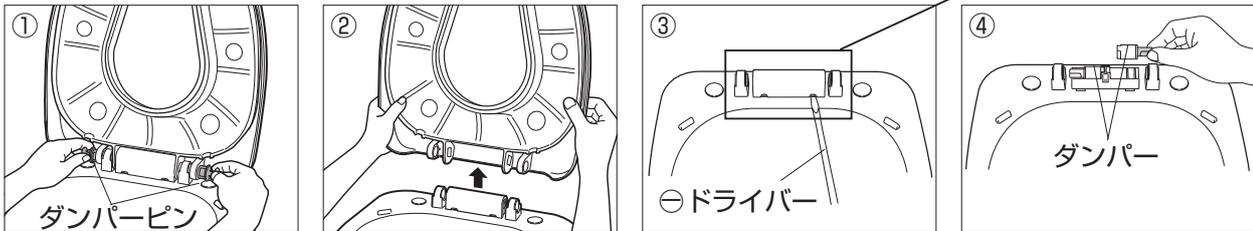
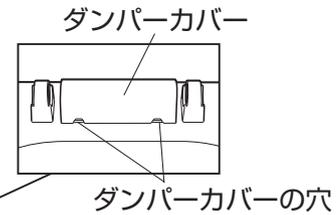
お手入れの方法

ダンパーの交換のしかた

用意するもの「**⊖ドライバー**」

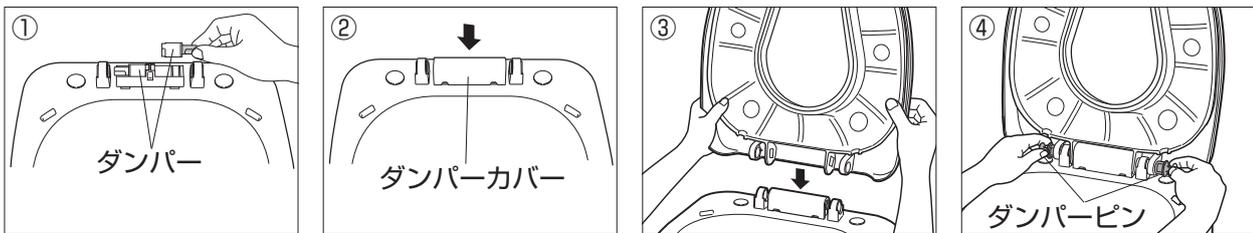
上蓋・便座・ダンパーなどを取り外す

- ①図のように上蓋と便座をあげ、ダンパーピンを引き抜く。(左右2ヶ所)
- ②上蓋と便座を取り外す。
- ③ダンパーカバーの穴に⊖ドライバーを差し込んで、ダンパーカバーを外す。
- ④ダンパーを取り外す。(左右2ヶ所)



※ダンパーピンが外れにくい場合は、上蓋・便座を前後に少し動かしながら引き抜いてください。

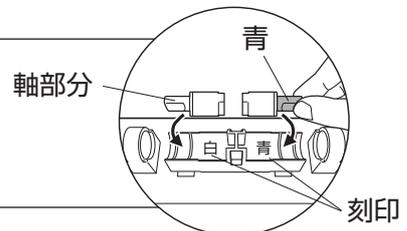
上蓋・便座・ダンパーなどを取り付ける



- ① **ダンパーの向きを確認**し、本体にセットしてください。

ダンパーの向きを確認

- ・ダンパーの色と本体の刻印を合わせてセットしてください。
- ・ダンパーの向きをイラストのように軸部分がタテになるようにセットしてください。



- ②ダンパーカバーを取り付ける。(ダンパーカバーに前後はありません)
- ③④上蓋と便座をあげた状態で取り付け、**ダンパーピンの向きを確認**し、差し込む。

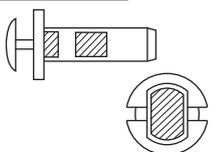
※上蓋・便座ともにあげた状態でダンパーピンを差し込んでください。

※ダンパーピンがはまりにくい場合は、上蓋・便座を前後に少し動かしながら差し込んでください。

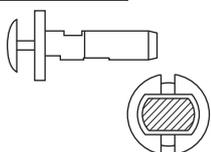
ダンパーピンの向きを確認

ダンパーピンの向きを確認

タテ向き



ヨコ向き



便座を上げた状態で取り付ける



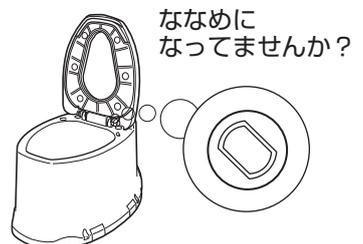
もしくは

便座を下げた状態で取り付ける



もし、ダンパーピンが差し込めない場合は…

側面からダンパー軸の穴をのぞいて **ダンパー軸** (便座の軸穴) **ダンパーピン** の向きをそろえてピンを差し込んでください。



■ 保証とアフターサービス よくお読みください ■

■ 保証書

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

保証期間：お買い上げ日から1年間

■ 修理を依頼される時

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店にご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

